（別紙３）

公表　事業所における自己評価総括表

○事業所名	放課後等デイサービス　グッドスマイル朝倉			
○保護者評価実施期間	R8年2月1日	～	R8年2月28日	
○保護者評価有効回答数	（対象者数）	31	（回答者数）	18
○従業者評価実施期間	R8年2月1日	～	R8年2月28日	
○従業者評価有効回答数	（対象者数）	5	（回答者数）	5
○事業者向け自己評価表作成日	R8年3月7日			

○ 分析結果

	事業所の強み（※）だと思われること ※より強化・充実を図ることが期待されること	工夫していることや意識的に行っている取組等	さらに充実を図るための取組等
1	児童に会った個別支援、支援ツールの作成、イベント活動への参加の促し	個々に合わせたツールや手順書を用意、使用している。 外部のイベントに参加する際には、事前にルール説明や個別に必要な手順書や視覚ツールを作成している。	外部機関と連携を行い、様々なイベントなどを提案し、社会参加していく。
2	それぞれの児童に合わせたコミュニケーション方法の提案	児童に合わせた絵カードやリマインダーの作成は継続して行い、必要に応じて改良している。 対職員や保護者など身近な者以外にも伝えていく事を意識して取り組んでいいる。	外部機関の見学や研修に加え、事業所内での話し合いの中で色々なアイデアを出して、より良い方法などを検討していく。
3	児童の意見を取り入れた支援	・児童からの要望などを検討し、外出支援に活かしている。その際に、保護者への丁寧な説明を行い、協力を仰いでいる。	・児童からの発信に注視し、取り組みやすい事から実施していく。

	事業所の弱み（※）だと思われること ※事業所の課題や改善が必要だと思われること	事業所として考えている課題の要因等	改善に向けて必要な取組や工夫が必要な点等
1	他事業所との連携した支援	管理者や児発管以外の職員が、他事業所との接点が少ない。	合同行事の提案や、こちらのイベントへの参加への誘い掛け、外部機関のイベントへの積極的な参加を検討していく。
2	専門性を生かした支援	時間の制限があり、作業療法士・理学療法士や保育士の強みを発揮しきれていないと感じる	専門職からの意見を取り入れて、より専門性を生かしていけるように時間やエリア分けをより明確化して取り組んでいく。
3			